

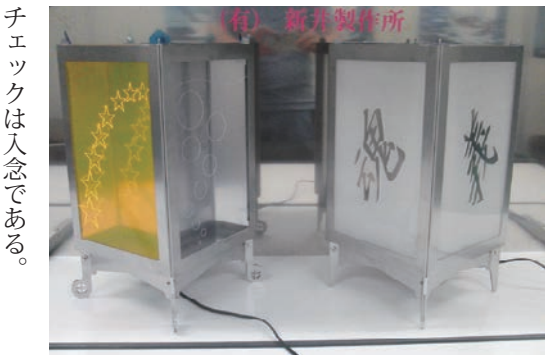
「イメージ」から「形」へ 職人と機械の融合による 「ものづくり」

新井製作所

新井製作所（横浜市都筑区川向町、新井健社長、電話045・472・4697、FAX042・474・0933）は、昭和53年の創業以来、精密板金加工をはじめ、計測装置部品加工、半導体装置部品加工など、多様な部品加工を主業としている。機械による精密機械加工を得意とし、溶接や曲げ加工なども幅広く対応している。

同社の特長は、「提案型」のものづくりを行っているところである。単に取引先メーカーから預かった図面を基に製造するだけではなく、より良い製品とするために、図面の変更を提言したり、お客様のニーズを探り、二人三脚で具体的な「形」にしていく。これまでの概念に囚われず、社長以下全社員が一丸となって、「形」をつくり上げてきた結果、取引先メーカーからの信頼は厚い。

同社では、工場内の機械のレイアウトや動線にも工夫を凝らし、加工、組み立て、検査、出荷の流れをスムーズにし、納期の短縮化を図っている。同時に、高品質を維持するため、工程ごとに職人による品質チェックが行われており、特に繊細な加工が必要な部品の



燈籠をモチーフにした若手職人による試作品

チェックは入念である。

また、同社では高品質を維持するための人材育成にも力を注いでいる。作業現場では、熟練した職人が積極的に若手の職人へのマンツーマン指導を行っている。それだけではなく、若手職人による独創性のある試作品製作にも力を入れ、個々人のスキルアップも図っている。「これからの世代を担う若い人たちの『アイデア』や『イメージ』は、当社の貴重な財産。社員と一緒に考え、『形』にしていることを大切にしている」と新井社長は若手職人の仕事ぶりを見つめながら言い切る。



新井 健社長

最後に新井社長は「ものづくりにはたくさんさんの夢が詰まっている。お客様の『イメージ』を『形』にできた時が何よりも、ものやりがい。その『形』が、少しでもお客様の発展や社会への貢献につながれば嬉しい」とものづくりへの情熱を語ってくれた。